社会福祉法人 東京コロニー

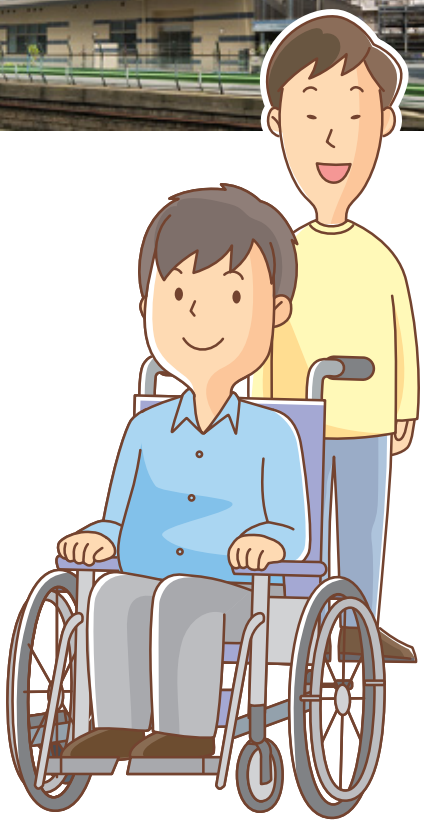
東京都大田福祉工場

Ota Wellbeing Factory

Company Profile

「働く」ことで、誰もが笑顔になる。
地域共生社会を目指して

障害のある人もない人も、
自分らしく、地域で共に生きる社会へ



東京都大田福祉工場は、都立の身体障害者福祉工場として
1975年4月に創立しました。
以来、社会福祉法人東京コロニーが運営を受託し、
障害のある多くの人々に働く場を提供しながら、
ワンストップサービスの印刷工場としても確かな実績を重ねてきました。
しかし、福祉工場制度の廃止に伴って、
2012年4月に東京都が社会福祉法人東京コロニーに移譲・民営化し、
あわせて障害者自立支援法（現・障害者総合支援法）に基づく
障害福祉サービス事業の多機能型施設へと移行、再スタートを果たしました。
現在は働く場の提供と充実、就労支援などを通して、
障害のある人とない人が共に自分らしく、笑顔で働き続けられる
地域共生社会の実現を目指しています。

目的

- 東京コロニーの事業目的である
「平等性」、「企業性」、「民間性」をベースに
障害者の社会的・経済的な自立を実現します。
- 地域や企業の方々の協力を頂きながら、
利用者が持つ力を引き出すことで
就労ができるように支援します。
- 障害者が地域であたりまえに生きていくために、
各種の取り組みを行います。
- 大田区という地域から、
障害者の雇用と生活の充実に役立つ取り組みを発信します。

管理者：湯浅克己

種　別：障害福祉サービス事業　多機能型

事業内容／定員：就労継続支援 A 型　30 名
就労継続支援 B 型　40 名
就労移行支援　10 名
就労定着支援

「働く」ことで、人と社会がつながる。
真のエンパワメントを目指して

就労継続支援Ａ型事業のご紹介

東京都大田福祉工場は、創立当初から障害のある人もない人も「共に働く工場」として運営してきました。福祉工場制度が廃止となった現在、働いている障害者は就労継続支援Ａ型の利用者という立場になりましたが、待遇面は変えず継続しています。一般の正規従業員と給与や処遇に差はなく、2018年度の平均年収は340万円（賞与込み）でした。Ａ型利用者のなかには管理職を努める人もいるなど、職業的な経験やスキルを考慮されるのが大きな特長です。利用料の１割自己負担についても事業所が負担するなど、一般的なＡ型利用のイメージとは異なりますが、Ａ型という制度の枠組みのなかで、障害者雇用の新しいカタチを模索しています。

作業内容

企画デザイン、DTP、印刷、製本、折り加工など
印刷業務全般。営業事務、総務など。

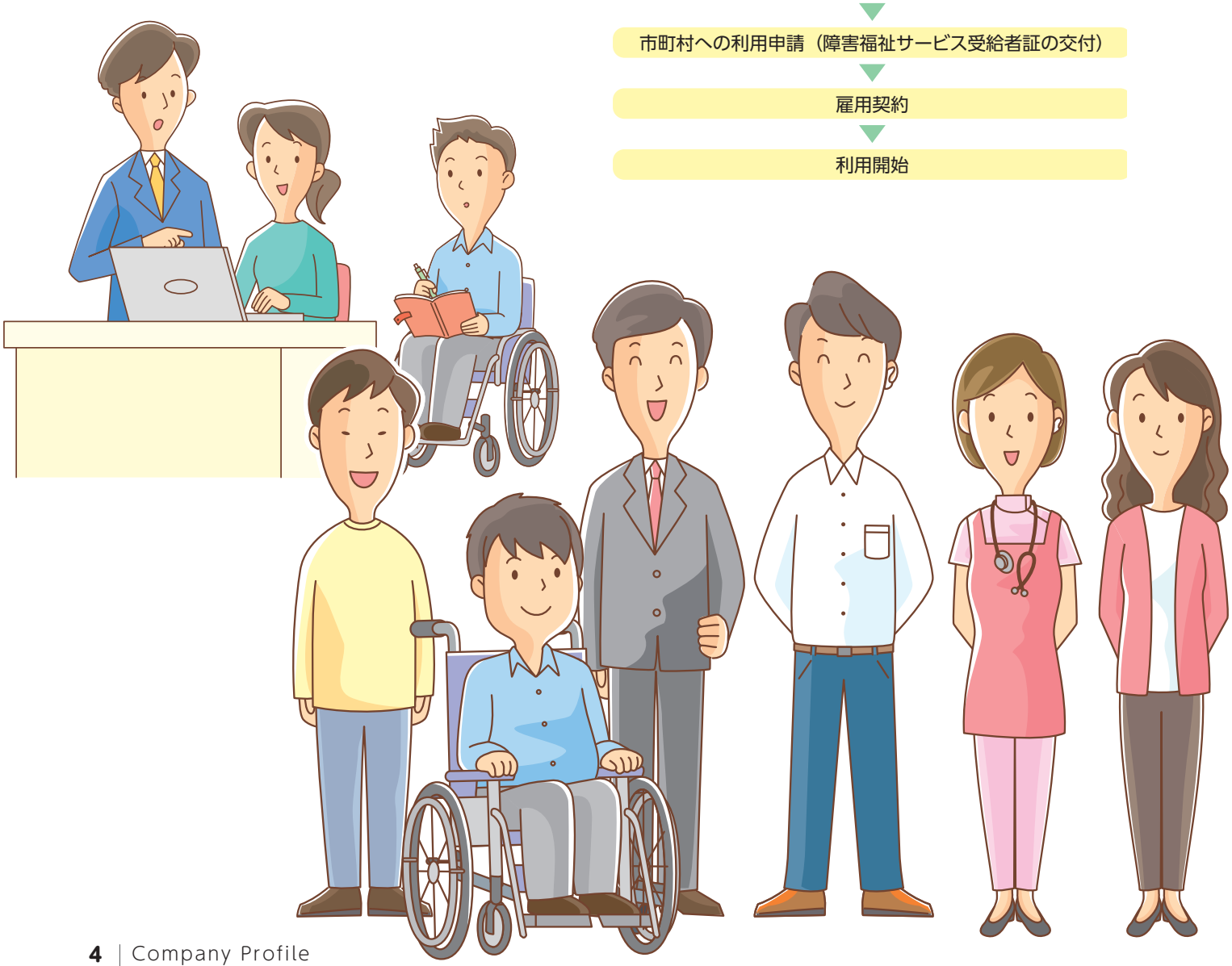
サービス提供時間

9:00 ～ 17:20
（土・日・祝日は休み、土曜日は年７日程度の出勤日有）
昼休み：12:00 ～ 12:50

ご利用までの流れ

（65歳未満の方が対象です）

ハローワークなどからの紹介
▼
実習・面接（採用試験）
▼
採用決定
▼
市町村への利用申請（障害福祉サービス受給者証の交付）
▼
雇用契約
▼
利用開始



就労移行支援・
就労継続支援Ｂ型事業のご紹介

東京都大田福祉工場の就労移行支援・就労継続支援Ｂ型は「行き場がなく困難を抱えている人を可能な限り受け入れる」ことが基本指針です。高次脳機能障害や片マヒなど重度の障害を抱える人も数多く働いていて、官公庁や一般企業など多くの就労実績があります。

「就労移行支援」は企業や役所などへの就職を目的とした２年期限の訓練サービスです。東京都大田福祉工場の特長は、就労に向けた実地訓練として実際の印刷業務を体験すると同時に工賃が受け取れることです。また様々な就労プログラム（模擬面接、履歴書作成、マナー講座、ハローワーク同行、面接同行）やパソコン訓練、企業実習など、利用者一人ひとりのニーズに応じた支援を提供しています。

「就労継続支援Ｂ型」は、一般企業での就労が困難な障害者に生産活動の機会を提供する障害福祉サービスで、開始年齢や利用期間に制限はありません。東京都大田福祉工場で働くことで、自分らしい自立した生き方を共に考え、実現してゆくことができます。また、就労に必要な知識と能力を徐々に高めながら、多くのメンバーが一般企業などへの就労を目指し工場内の「就労移行支援」に転籍しています。（2018年度の工賃実績：月額平均33,000円※）

※一時金を含む総支給額の月額平均

作業内容

封入／ラベル貼り／仕分け／梱包／清掃などの軽作業、パソコン作業など

※就労移行支援では、各種の就労支援プログラムを提供

サービス提供時間

9:00 ～ 16:30（土・日・祝日は休み）
昼休み：12:00 ～ 12:50 ／休息：午前・午後に各10分間

ご利用までの流れ

問い合わせ・相談
▼
見学・面接（採用試験）
▼
実習
▼
市町村への利用申請（障害福祉サービス受給者証の交付）
▼
契約
▼
利用開始

※サービスの利用時間中はADL（日常生活動作）に関する公的支援が受けられないため、ADLの自立が必要です。自立している方であれば、特に障害種別は問いません。
※障害者手帳を所持していない場合でも、自立支援医療を受診されている方や指定難病の方は、サービス受給者証が交付される場合もありますので、最寄の福祉事務所（大田区の場合は地域福祉課）にご相談ください。

「働く」ことで、一人ひとりが自信をもつ。誇りある職場を目指して

定評ある品質と仕事ぶりで
官公庁から地方公共団体、教育機関、一般企業まで
幅広いお客様から確かな信頼を獲得

エシカル消費で障害のある人を支援

エシカル消費とは人や社会、地球環境、地域などに配慮した倫理的消費行動のこと。東京都大田福祉工場に仕事を発注することは、障害者の社会的・経済的自立の支援につながります。印刷物の奥付に「障害者雇用のための工場で印刷しています」と記載してCSR活動をアピールできます。

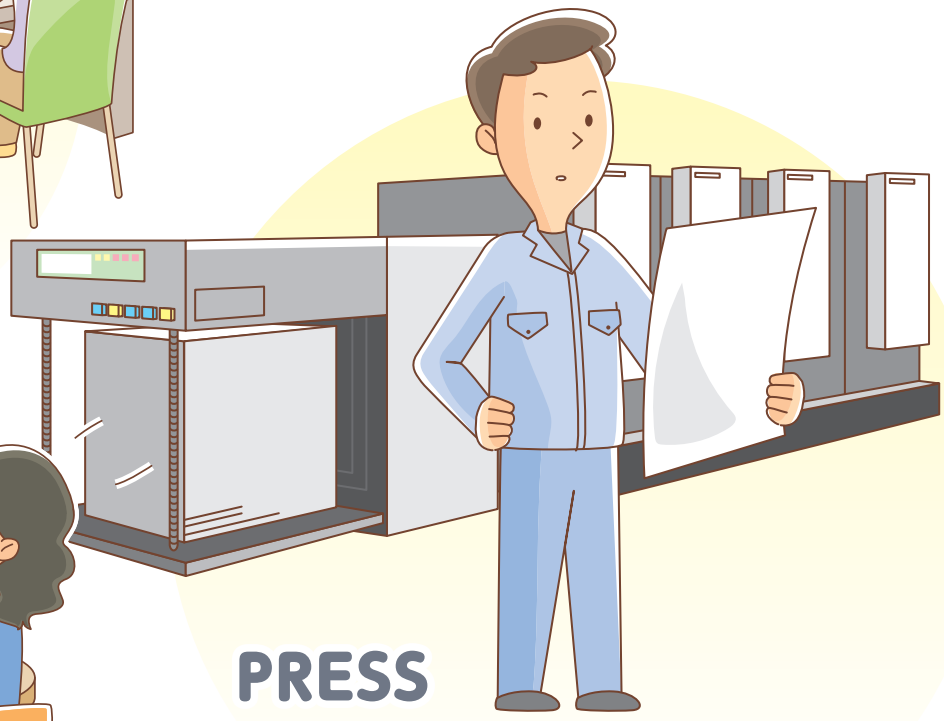
障害者優先調達推進法の対象先

東京都大田福祉工場は、国や地方公共団体が障害者就労施設から優先的に物品を調達し、障害者の経済的自立を推進する「障害者優先調達推進法」の対象企業です。お客様からの信頼も厚く、毎年公表される調達実績報告では全国でも有数の取引額を誇ります。

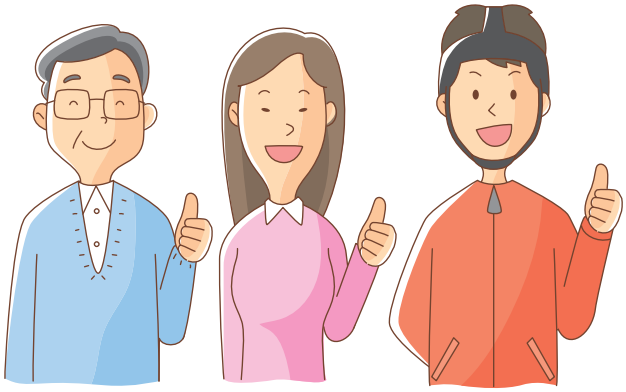
私達はこんなことができます

官公庁（広報冊子、白書、報告書、年報）／医療・学校関連（論文集、会報、学校案内、マニュアル）／一般企業（会社案内、社内報、PR誌、ポスター、パンフレット、チラシ、DM）／その他（名刺、はがき・封筒、帳票・伝票、チケット）／CD-ROM作成、データ変換／AR技術印刷／音声コード（SPコード、JAVISコード）加工サービス

PREPRESS



PRESS

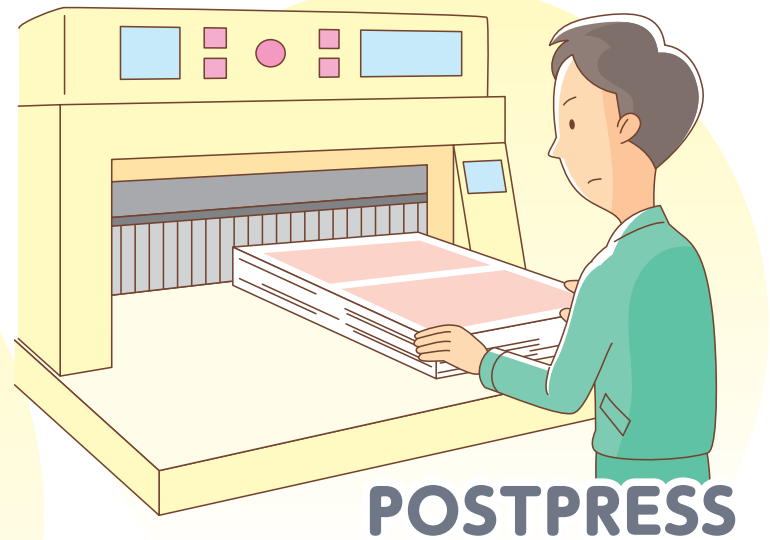


妥協のない品質と
ワンストップサービスを提供

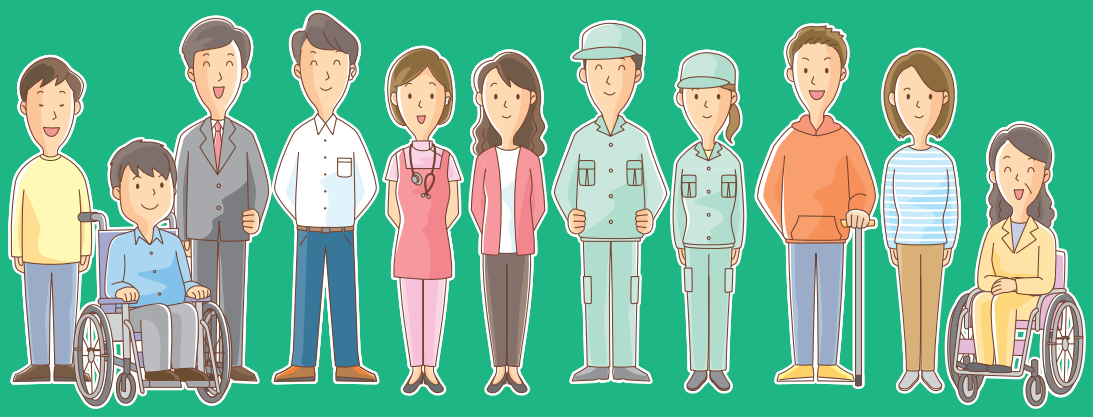
1975年の創立以来、障害のある人もない人も共に働く本格的な印刷工場として、企画・編集デザインから印刷、製本、発送、メーリングサービスまで一貫した所内生産体制を構築し、通常の印刷会社と変わらぬ価格と品質を提供してきました。また約10名の専任営業マンが、顧客ファーストの姿勢でお客様の要望にきめ細かく対応。その丁寧な仕事ぶりは数多くのお客様から長年にわたり高い信頼を得ています。顧客は官公庁から東京都、区市町村、各種公共団体、大学、高校、一般企業まで幅広く、数百団体との取引実績と高いリピート率を誇ります。

主要取引先

国各省庁
東京都
東京都内区市町村
東京大学
東京都立大学（2020.4 首都大学東京から改称）
東京慈恵会医科大学
都立高等学校
社会福祉協議会
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
国立研究開発法人 国立がん研究センター
横浜YMCA
ナカバヤシ株式会社
株式会社 シナリオ・センター
一般社団法人 東京バス協会
公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
公益社団法人 東京社会福祉士会

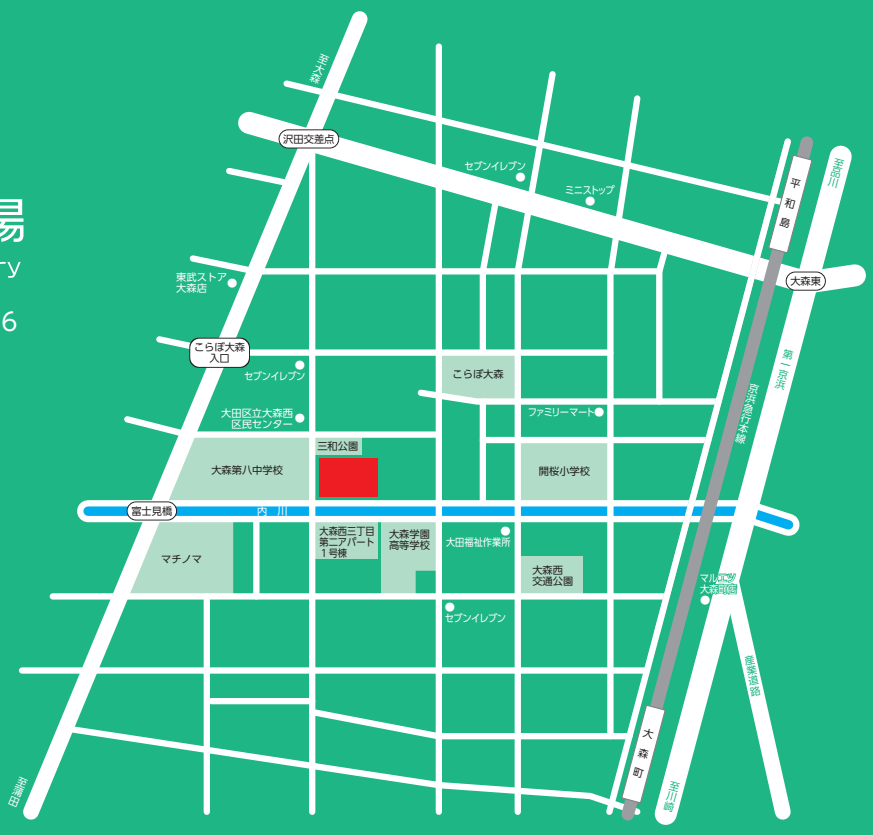


Company Profile



東京都 社会福祉法人 東京コロニー
大田福祉工場
Ota Wellbeing Factory

〒 143-0015 東京都大田区大森西 2-22-26
TEL.03-3762-7611
FAX.03-3768-5475
https://ootafukushikojo.org/



2010. 6 プライバシーマーク取得 第10900012(05)号